



2020年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社稲葉製作所
 コード番号 3421 URL <http://www.inaba-ss.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 明
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 武田 浩 TEL 03-3759-5181
 四半期報告書提出予定日 2019年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第1四半期の連結業績 (2019年8月1日～2019年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第1四半期	8,579	10.2	385	34.6	437	24.1	261	14.5
2019年7月期第1四半期	7,786	5.2	285	—	352	—	228	—

(注) 包括利益 2020年7月期第1四半期 283百万円 (36.9%) 2019年7月期第1四半期 207百万円 (546.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第1四半期	14.87	—
2019年7月期第1四半期	12.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第1四半期	52,723	38,389	72.8	2,185.69
2019年7月期	53,314	38,334	71.9	2,182.58

(参考) 自己資本 2020年7月期第1四半期 38,389百万円 2019年7月期 38,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年7月期	—	—	—	—	—
2020年7月期 (予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年7月期の連結業績予想 (2019年8月1日～2020年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	15,800	△0.1	500	△14.8	610	△22.3	340	△29.6	19.36
通期	34,700	1.9	1,850	4.1	2,120	0.1	1,330	25.4	75.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期1Q	17,922,429株	2019年7月期	17,922,429株
② 期末自己株式数	2020年7月期1Q	358,536株	2019年7月期	358,506株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期1Q	17,563,923株	2019年7月期1Q	17,560,723株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率(%)
売上高	7,786	8,579	10.2
営業利益	285	385	34.6
経常利益	352	437	24.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	228	261	14.5

当第1四半期連結累計期間の国内経済につきましては、世界経済の減速、米中貿易摩擦などを背景として外需が振るわないなか、内需が下支えする構造が続きましたが、消費増税による家計消費の抑制、外需不振に伴う企業の在庫調整、設備投資の抑制などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。これに伴い、上場企業の2019年9月期決算は、米中貿易摩擦の影響や景気の先行きへの懸念から製造業を中心に減益や業績予想の下方修正が相次ぎました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境について概観いたしますと、鋼製物置市場では、持家・分譲一戸建住宅の新設着工戸数が弱含みで推移いたしました。消費税率引上げ前の駆け込み需要により、物置及びガレージ・倉庫の需要は増加いたしました。オフィス家具市場では、大規模オフィスビルの安定的な供給を背景にオフィスの移転需要及びリニューアル需要は堅調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間の平均鋼材価格は、前第1四半期連結累計期間に比べて上昇いたしました。

このような事業環境のなか、当社グループは、製造コストの低減及び品質・生産性向上への取組みに加え、代理店様・販売店様とのリレーション強化、物流拠点と販売拠点との連携強化や製品の強みを活かした提案営業の拡大などにより、各事業分野での売上拡大に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,579百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益385百万円(前年同期比34.6%増)、経常利益437百万円(前年同期比24.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益261百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
鋼製物置	5,249	6,140	890	614	743	129
オフィス家具	2,537	2,439	△97	△64	△67	△3
合計	7,786	8,579	793	550	676	125

(鋼製物置事業)

鋼製物置事業については、消費税率引上げ前の駆け込み需要により、一般製品、ガレージ・倉庫の大型製品及びパブリック製品の出荷数量が伸長したこともあり、前第1四半期連結累計期間に比べ、売上高と利益はともに増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高6,140百万円(前年同期比17.0%増)、セグメント利益743百万円(前年同期比21.0%増)となりました。

(オフィス家具事業)

オフィス家具事業については、引き続きオフィスでの働き方改革や健康への関心の高まりに対応した新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開いたしました。既存オフィスビルの空室率低下に伴い二次移転需要が弱含みで推移したこと、人件費の増加等もあり、前第1四半期連結累計期間に比べ、売上高と利益はともに減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高2,439百万円(前年同期比3.8%減)、セグメント損失67百万円(前年同期は64百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末 (百万円)	当第1四半期連結会計期間末 (百万円)	増減(百万円)
流動資産	28,227	27,032	△1,194
固定資産	25,087	25,690	603
総資産	53,314	52,723	△590
流動負債	12,152	11,471	△680
固定負債	2,827	2,862	35
純資産	38,334	38,389	54

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、27,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,194百万円減少いたしました。主な減少要因は、配当支払、納税、有価証券及び投資有価証券取得等による現金及び預金の減少であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、25,690百万円となり、前連結会計年度末に比べ、603百万円増加いたしました。主な増加要因は、静岡配送センター移転用地の取得等による土地の増加、投資その他の資産のその他に含まれる債券の取得等による投資有価証券の増加であります。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、52,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ、590百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は11,471百万円となり、前連結会計年度末に比べ、680百万円減少いたしました。主な減少要因は、電子記録債務の減少及び納税による未払法人税等の減少であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、2,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。主な増加要因は、役員株式給付引当金の増加であります。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、14,334百万円となり、前連結会計年度末に比べ645百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、38,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加いたしました。主な増加要因は、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明

2020年7月期の連結業績予想につきましては、2019年9月12日に公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,658,466	14,053,593
受取手形及び売掛金	6,097,977	6,345,931
電子記録債権	1,922,842	2,008,982
有価証券	500,100	1,500,010
商品及び製品	2,260,705	2,190,804
仕掛品	201,325	270,378
原材料及び貯蔵品	311,428	347,435
その他	284,379	331,300
貸倒引当金	△9,955	△15,544
流動資産合計	28,227,269	27,032,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,970,793	6,966,623
機械装置及び運搬具(純額)	3,238,148	3,130,576
土地	11,121,385	11,520,414
その他(純額)	231,536	251,897
有形固定資産合計	21,561,863	21,869,510
無形固定資産	425,881	390,782
投資その他の資産		
その他	3,100,377	3,430,441
貸倒引当金	△848	△0
投資その他の資産合計	3,099,529	3,430,441
固定資産合計	25,087,273	25,690,734
資産合計	53,314,543	52,723,626
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,049,605	4,060,334
電子記録債務	4,118,894	3,667,639
未払法人税等	682,572	275,369
賞与引当金	309,208	630,132
その他	2,992,324	2,838,308
流動負債合計	12,152,606	11,471,784
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,966	5,516
役員株式給付引当金	63,785	85,772
退職給付に係る負債	1,430,515	1,438,263
その他	1,330,976	1,333,021
固定負債合計	2,827,243	2,862,573
負債合計	14,979,850	14,334,357

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	1,013,770	1,013,770
利益剰余金	36,376,894	36,409,121
自己株式	△331,745	△331,788
株主資本合計	38,190,967	38,223,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,741	201,604
退職給付に係る調整累計額	△41,016	△35,488
その他の包括利益累計額合計	143,724	166,116
純資産合計	38,334,692	38,389,268
負債純資産合計	53,314,543	52,723,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)
売上高	7,786,553	8,579,842
売上原価	5,603,930	6,118,876
売上総利益	2,182,622	2,460,965
販売費及び一般管理費	1,896,641	2,075,923
営業利益	285,980	385,041
営業外収益		
受取利息	1,232	1,285
受取配当金	530	557
作業くず売却益	33,552	20,957
電力販売収益	24,977	23,398
雑収入	17,076	16,032
営業外収益合計	77,370	62,232
営業外費用		
電力販売費用	10,459	9,643
雑損失	196	43
営業外費用合計	10,656	9,687
経常利益	352,694	437,586
特別利益		
固定資産売却益	79	778
特別利益合計	79	778
特別損失		
減損損失	440	14,857
固定資産除却損	1,332	15,439
特別損失合計	1,772	30,296
税金等調整前四半期純利益	351,001	408,068
法人税、住民税及び事業税	250,885	255,010
法人税等調整額	△127,919	△108,134
法人税等合計	122,966	146,876
四半期純利益	228,034	261,192
親会社株主に帰属する四半期純利益	228,034	261,192

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	228,034	261,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,414	16,863
退職給付に係る調整額	15,548	5,527
その他の包括利益合計	△20,866	22,391
四半期包括利益	207,168	283,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,168	283,583

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年8月1日至2018年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,249,198	2,537,354	7,786,553	—	7,786,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,249,198	2,537,354	7,786,553	—	7,786,553
セグメント利益又は損失(△)	614,511	△64,324	550,187	△264,207	285,980

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△264,207千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては440千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,140,047	2,439,794	8,579,842	—	8,579,842
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17	17	△17	—
計	6,140,047	2,439,812	8,579,860	△17	8,579,842
セグメント利益又は損失(△)	743,771	△67,717	676,053	△291,012	385,041

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△17千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△291,012千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鋼製物置」セグメント及び「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「鋼製物置」セグメント5,841千円及び「オフィス家具」セグメント9,016千円であります。